

# 建設現場におけるヒューマンエラーの12の原因

## 1/12 無知、未経験

作業員が建設現場で働いた経験がないと、建設現場のどこに危険が潜んでいるかわかりません。対策は教育訓練に尽きますが、未経験の作業員の適正配置、未経験者が現場で作業していることを全現場従事者に知らせることも重要です。

受入教育にて経験年数を確認



# 建設現場におけるヒューマンエラーの12の原因

## 2/12

## 危険軽視、慣れ

### ちよつとの間だからいいだろう？

建設現場では危険軽視によるヒューマンエラーがとても多くなっています。

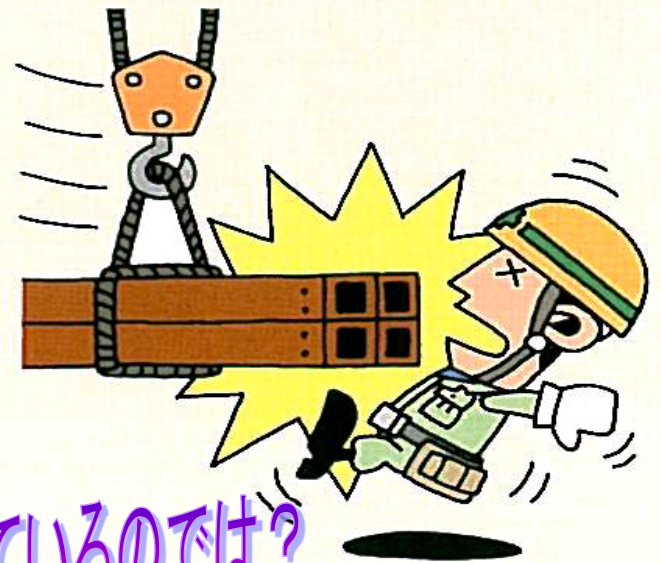
例えば、

「これくらいの高さであれば安全帯を使用せずに作業をしても大丈夫」、

「少しの間であれば重機の作業半径内に立ち入っても平気だ」、

「資材の荷上げが1回だけなら、ユニック車のアウトリガーを張り出さずに作業してしまおう」

このように、作業員が危険軽視し、不安全行動をとり、災害に巻き込まれる事例は多いのです。

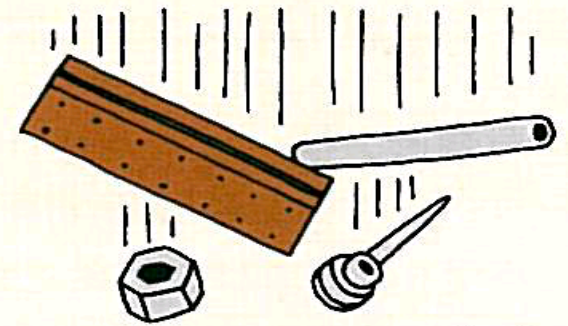


危険予知ではなく安全予測をしているのでは？

# 建設現場におけるヒューマンエラーの12の原因

## 3/12 不注意

建設現場では不注意によるヒューマンエラーも多くなっています。人間は一つのことに集中すると、他のことには注意が散漫になります。逆に言えば、他のことに不注意にならないと一つのことは集中できません。つまり、作業に集中すると安全に十分な注意を払えなくなるのです。



## 職長は常に第三者の目で行動確認



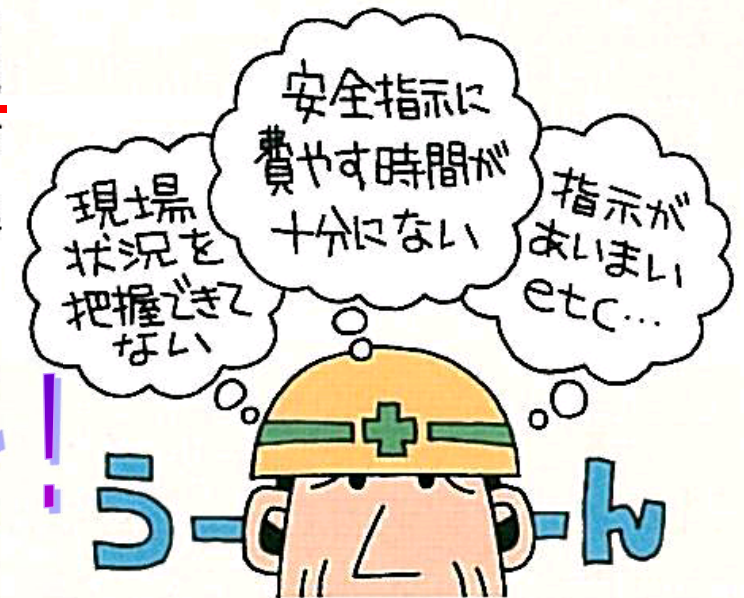
# 建設現場におけるヒューマンエラーの12の原因

## 4/12 連絡不足

思い込みで指示していませんか？

毎日、朝礼、K-Y活動等で安全指示が頻繁に行われています。  
しかし、「安全指示に費やす時間が十分でない」「現場状況を把握せずに的確な指示ができない」「指示があいまい」「作業員が指示をきかない」等によって、安全指示が伝わらずに災害が起こることがあります。

現場の状況に合った的確な指示を！



# 建設現場におけるヒューマンエラーの12の原因

## 5/12 集団欠陥

いわゆる突貫工事のような工期が非常に厳しい工事では、現場全体が工期を守ることを最優先させ、“不安全行動やむなし”というようなムードになる場合があります。これが集団欠陥です。

妥協しない！

事が起こればもっと遅れる。



# 建設現場におけるヒューマンエラーの12の原因

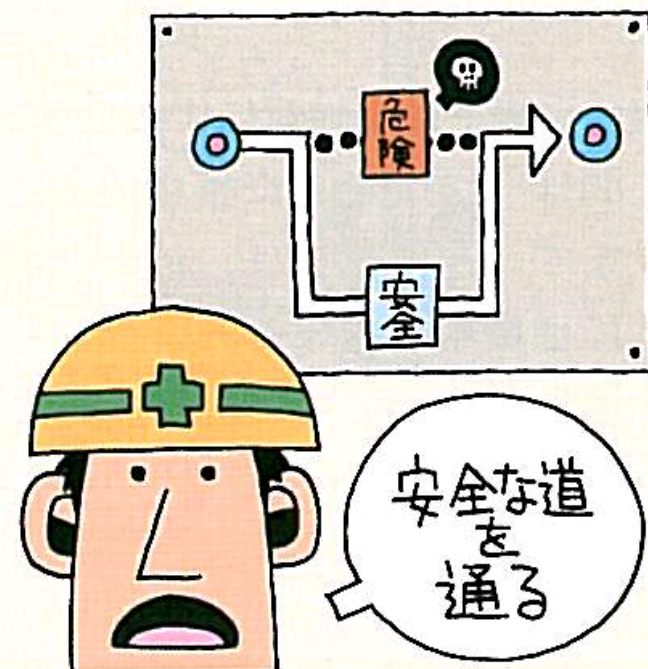
## 6/12 近道省略行動本能

近道省略行動本能とは、面倒な手順を省略したいなど、効率的に物事を進めようとする本能ですが、時に不安全行動につながります。

足場の階段の使い勝手が悪ければ面倒だなと感じ、建杵を階段代わりに使う作業員が出てきます。溝掘削後に設置した渡り桟橋に不便を感じれば、切梁上が通路代わりに使われます。

対策の一つとしては、近道省略行動本能を起こさせないような使い勝手のよい仮設計画を立てることです。

### 安全距離、バランスのとれた仮設計画



# 建設現場におけるヒューマンエラーの12の原因

## 7/12 場面行動本能

場面行動本能とは、瞬間的に注意が一点に集中すると周りを見ずに行動してしまう本能です。

例えば、脚立上での天井ボード張りで、バランスを崩し脚立が倒れそうになります。その瞬間、手に持つボードを放り投げ、飛び降りれば大事故になることはありません。しかし、場面行動本能が働き、ボードを落とすまいという姿勢を瞬間的にとってしまい頭から墜落……このようなことが起きてしまいます。



# 建設現場におけるヒューマンエラーの12の原因

# 8/12

# パニック シンプル

# ミツク イズ ベスト

とても驚いたときやあわてたときは、脳は正常な働きをせず、ミスを犯しやすくなります。

例えば、コンクリートはつり作業で、ブレーカの停止ボタンを押そうとしたものの、防振手袋をしていたため上手く押せません。ブレーカが止まらず、作業員はパニックになり被災……このようなことが起きてしまいます。

作業手順はできるだけ単純なほうが良い





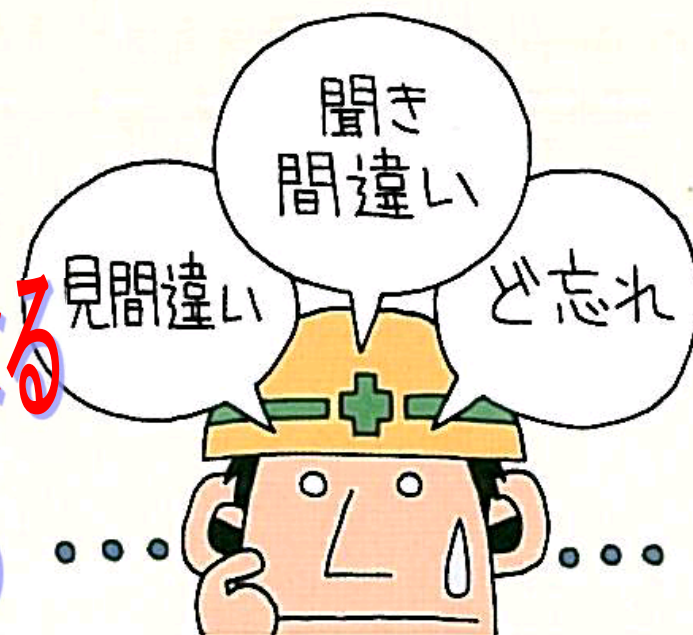
# 建設現場におけるヒューマンエラーの12の原因

## 9/12 錯覚

錯覚には、玉掛け合図の見間違い、作業指示の聞き間違いなど五感による間違いと、ど忘れ、思い込みなど、五感から入る情報を脳でまとめる時の間違いがあります。

年をとるほど人のいうことを聞く謙虚さが無くなる

年をとるほど思い込みは激しくなる

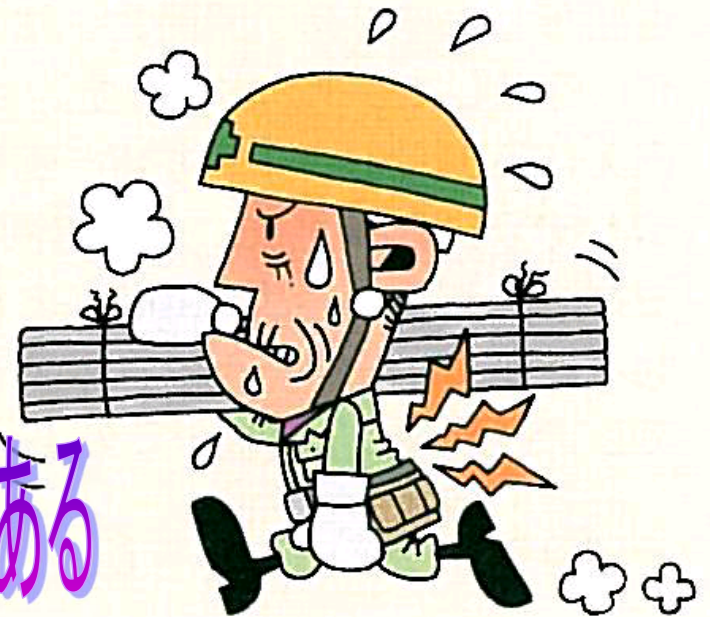


# 建設現場におけるヒューマンエラーの12の原因

## 10/12 中高年の機能低下

中高年になると、足腰の衰え、視力やバランス感覚の低下など身体機能が低下し、ヒューマンエラーを起こすことがあります。中高年者の「まだまだ若い者には負けない」という気概は大切ですが、一方で身体能力の低下を自覚せず作業を続け、腰痛等になってしまうことがあります。

安全大会等で耐力測定により、年齢耐力を知る必要がある



# 建設現場におけるヒューマンエラーの12の原因

## 11/12 疲労等

人間は疲れると自らの意志に反してミスを犯しやすくなります。  
建設現場では突貫工事のようにせっぱ詰まった状況で、長時間労働が続くような過酷な状況に陥るケースが少なくなく、作業員の疲労による事故対策は重要な課題です。

## 疲労を蓄積しないように



# 建設現場におけるヒューマンエラーの12の原因

## 12/12 単調作業による意識低下

人間は単調な反復作業を続けると、意識が低下しミスを起こしやすくなります。

職長は作業に変化をもたせることも必要か

